

埼 玉 県

多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査

— 概 要 版 —

<調査の概要>

● 調査の目的

LGBTQ（性的マイノリティ）について、県民の性的指向、性自認、心身の健康状態、経済状態、いじめ等の体験、行政へのニーズなどを伺い、施策立案を行うための基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施いたしました。

● 調査方法

調査対象：埼玉県内に住む満18歳以上64歳以下の方

抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為方式

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット併用回収

調査期間：令和2年9月11日（金）～10月4日（日）

● 回収結果

発送数	有効回収数		白票・無効票	有効回収率	
	全体	内訳		全体	内訳
15,000件	5,606件 (100.0%)	郵送 3,984件 (71.1%) WEB 1,622件 (28.9%)	81件	37.6%	郵送 26.7% WEB 10.9%

※有効回収率は、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。

※有効回収率は、《有効回収数÷（発送数－白票・無効票数）×100》で算出しています。

● 調査項目

1. 本人や家族について	5. 性別、恋愛、性について
2. 今の仕事や仕事の経験について	6. カミングアウトについて
3. 健康や経験について	7. 性的マイノリティについて（悩んだ経験や相談状況）
4. 性に関する考えや周囲の状況について	

● 調査結果の見方

- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・表は、上段が件数、下段が割合（%）となっています。また、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果、0.0%となったものです。

● 地域規模区分

県内を 10 地域に分類しています。

南部地域	川口市、蕨市、戸田市
南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
さいたま地域	さいたま市
県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
秩父地域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

●その他の注意事項

- ・本調査の母集団は「18～64歳の埼玉県民」であるため、この結果を埼玉県 of 全年齢人口や、日本全国に一般化することはできません。
- ・本報告では性的マイノリティに関し、3 ページのとおり定義しましたが、性的マイノリティの定義については様々な意見があり、今後も変わる可能性があります。

<主な調査結果>

1. 性的マイノリティについて

本調査における性的マイノリティは、以下のように定義します。

- ①問 23（出生時の性別）で「1. 男性」又は「2. 女性」と回答し、
問 24（出生時の性別についての違和感）で
「2. 別の性別」又は「3. 違和感あり」と回答し、
問 25（今の認識）で
「2. 女性」又は「1. 男性」、
「3. 男性・女性どちらでも」、「4. 男性・女性の間」、
「5. 男性・女性のどちらでもない」、「6. 揺れ動いている」のいずれかを回答
- ②問 23 が無回答で、
問 24（出生時の性別についての違和感）で
「2. 別の性別」又は「3. 違和感あり」と回答し、
問 25（今の認識）で
「1. 男性」又は「2. 女性」、
「3. 男性・女性どちらでも」、「4. 男性・女性の間」、
「5. 男性・女性のどちらでもない」、「6. 揺れ動いている」のいずれかを回答
- ③問 26（性的指向）で「2. 同性愛者」、「3. 両性愛者」、「4. 無性愛者」のいずれかを回答
- ④問 26（性的指向）で「5. 決めたくない・決めていない」を回答し、
問 27（理由）で
「1. 異性愛者ではなく、クイア、パンセクシャルなど別のアイデンティティを
持っている」又は「2. まだ決めていない等」のいずれかを回答

上記の定義のもと分類すると、本調査で性的マイノリティに分類される人の数は 184 人（回答者 5,606 人の 3.3%）でした。

また、内訳は次のとおりです。

内訳の集計方法については、報告書の 7 ページをご確認ください。

性自認に関する性的 マイノリティ：30 人	トランスジェンダー （生まれたときに割り当てら れた性別と自認する性別が一 致しない人）	男女いずれかの性を 自認している	3 人
		男女いずれの性も 自認していない （Xジェンダー・ ノンバイナリー）	27 人
性的指向に関する性的 マイノリティ：171 人	同性愛者		19 人
	両性愛者		92 人
	無性愛者		42 人
	クエスチョニング		18 人

※「性自認に関するマイノリティ（30 人）」と「性的指向に関するマイノリティ（171 人）」の両方に分類される人がいるので、両方の合計人数（201 人）と「性的マイノリティ」に分類される人数（184 人）は一致しません。

2. 性的マイノリティが直面する困難

ここでは、この調査で性的マイノリティに分類した184人の直面する困難についての回答状況を掲載しています。

■学生時代に性的マイノリティであること／関連したことで悩んだ経験【問33 複数回答】

小学校1年生の頃から大学等の学生時代に性的マイノリティであることや関連したことで悩んだ経験について質問したところ、「性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること」、「学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと」、「誰に相談したらよいかわからないこと」で悩んだ経験が多くなっています。

※《経験がある》…「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校の頃」、「左の欄以降の学校（大学等）」のいずれか1つでも回答した人

【『性的マイノリティ』で《経験がある》が多かった上位3項目】

○性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること

	調査数	《経験がある》					左の欄以降の学校（大学等）	どの学校でもなかった	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	中学校の頃				
性的マイノリティ	184	18	34	51	56	30	75	23	86	
	100.0	9.8	18.5	27.7	30.4	16.3	40.8	12.5	46.7	

※上段が件数、下段が割合

○学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと

	調査数	《経験がある》					左の欄以降の学校（大学等）	どの学校でもなかった	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	中学校の頃				
性的マイノリティ	184	31	40	50	61	38	80	25	79	
	100.0	16.8	21.7	27.2	33.2	20.7	43.5	13.6	42.9	

※上段が件数、下段が割合

○誰に相談したらよいか分からないこと

	調査数	《経験がある》					左の欄以降の学校（大学等）	どの学校でもなかった	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	中学校の頃				
性的マイノリティ	184	6	13	28	32	30	99	26	59	
	100.0	3.3	7.1	15.2	17.4	16.3	53.8	14.1	32.1	

※上段が件数、下段が割合

■職場で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと【問34 複数回答】

職場で性的マイノリティであることや関連したことで悩んだ経験について質問したところ、「性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと」、「性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること」、「プライベートな話をしづらいこと」で悩んだことが多くなっています。

【『性的マイノリティ』が悩んだこととして選択した割合の多かった上位3項目】

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと	性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること	プライベートな話をしづらいこと
性的マイノリティ	184	49	44	39
	100.0	26.6	23.9	21.2

■学校卒業後、職場以外で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと

【問35 複数回答】

学校卒業後、職場以外で性的マイノリティであることや関連したことで悩んだ経験について質問したところ、「性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること」、「老後の生活に不安があること」、「将来の生活プランを描けないこと」で悩んだことが多くなっています。

【『性的マイノリティ』が悩んだこととして選択した割合の多かった上位3項目】

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること	老後の生活に不安があること	将来の生活プランを描けないこと
性的マイノリティ	184	62	46	43
	100.0	33.7	25.0	23.4

3. 性的マイノリティが置かれた状況

ここでは、この調査で性的マイノリティに分類した184人とそれ以外の5,422人との比較を掲載しています。

■最近1か月間のこころの状況【問10 単数回答】

最近1か月間に感じたことについて質問したところ、『性的マイノリティ』の方が『性的マイノリティ以外』より、「絶望的だと感じたこと」、「そわそわ落ち着かなく感じたこと」、「自分は価値のない人間だと感じたこと」があると回答した人の割合が特になくなっていきます。
 ※《ある》…「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」の合計値
 ※《高い頻度である》…「いつも」、「たいてい」の合計値

【『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』で《ある》の差が大きい上位3項目】

○絶望的だと感じたこと

	調査数	《ある》				まったくない	無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ				
全体	5,606	101	148	531	1,086	3,668	72	1,866	249
	100.0	1.8	2.6	9.5	19.4	65.4	1.3	33.3	4.4
性的マイノリティ	184	8	21	39	42	73	1	110	29
	100.0	4.3	11.4	21.2	22.8	39.7	0.5	59.8	15.8
性的マイノリティ以外	5,422	93	127	492	1,044	3,595	71	1,756	220
	100.0	1.7	2.3	9.1	19.3	66.3	1.3	32.4	4.1

※上段が件数、下段が割合

○そわそわ落ち着かなく感じたこと

	調査数	《ある》				まったくない	無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ				
全体	5,606	85	211	923	1,622	2,676	89	2,841	296
	100.0	1.5	3.8	16.5	28.9	47.7	1.6	50.7	5.3
性的マイノリティ	184	11	26	44	57	46	-	138	37
	100.0	6.0	14.1	23.9	31.0	25.0	-	75.0	20.1
性的マイノリティ以外	5,422	74	185	879	1,565	2,630	89	2,703	259
	100.0	1.4	3.4	16.2	28.9	48.5	1.6	49.9	4.8

※上段が件数、下段が割合

○自分は価値のない人間だと感じたこと

	調査数	《ある》					まったくない	無回答	※上段が件数、下段が割合	
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ	《ある》			《高い頻度である》	
		いつも	たいてい							
全体	5,606	157	205	569	1,134	3,476	65	2,065	362	
	100.0	2.8	3.7	10.1	20.2	62.0	1.2	36.8	6.5	
性的マイノリティ	184	23	21	30	38	71	1	112	44	
	100.0	12.5	11.4	16.3	20.7	38.6	0.5	60.9	23.9	
性的マイノリティ以外	5,422	134	184	539	1,096	3,405	64	1,953	318	
	100.0	2.5	3.4	9.9	20.2	62.8	1.2	36.0	5.9	

■精神的に追い込まれた経験【問11 複数回答】

小学校1年生の頃から現在までの精神的に追い込まれた経験について質問したところ、『性的マイノリティ』の方が『性的マイノリティ以外』より、「死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた」、「生きる価値がないと感じた」、「家にひきこもった、またはそれに近い状態になった」経験があると回答した人の割合が特に多くなっています。

※《経験がある》…「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも回答した人

【『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』で《経験がある》の差が大きい上位3項目】

○死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	16～18歳頃	19歳以降現在まで			
全体	5,606	64	224	431	333	1,054	3,955	77	1,574
	100.0	1.1	4.0	7.7	5.9	18.8	70.5	1.4	28.1
性的マイノリティ	184	13	23	47	50	81	61	2	121
	100.0	7.1	12.5	25.5	27.2	44.0	33.2	1.1	65.8
性的マイノリティ以外	5,422	51	201	384	283	973	3,894	75	1,453
	100.0	0.9	3.7	7.1	5.2	17.9	71.8	1.4	26.8

○生きる価値がないと感じた

	調査数	《経験がある》					19歳以降 現在まで	経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・ の頃	19歳以降 現在まで				
全 体	5,606	72	182	376	323	882	4,174	90	1,342	
	100.0	1.3	3.2	6.7	5.8	15.7	74.5	1.6	23.9	
性的マイノリティ	184	13	22	41	55	70	71	2	111	
	100.0	7.1	12.0	22.3	29.9	38.0	38.6	1.1	60.3	
性的マイノリティ以外	5,422	59	160	335	268	812	4,103	88	1,231	
	100.0	1.1	3.0	6.2	4.9	15.0	75.7	1.6	22.7	

○家にひきこもった、またはそれに近い状態になった

	調査数	《経験がある》					19歳以降 現在まで	経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・ の頃	19歳以降 現在まで				
全 体	5,606	59	100	191	139	493	4,712	67	827	
	100.0	1.1	1.8	3.4	2.5	8.8	84.1	1.2	14.8	
性的マイノリティ	184	7	16	24	20	48	100	3	81	
	100.0	3.8	8.7	13.0	10.9	26.1	54.3	1.6	44.0	
性的マイノリティ以外	5,422	52	84	167	119	445	4,612	64	746	
	100.0	1.0	1.5	3.1	2.2	8.2	85.1	1.2	13.8	

■ハラスメント被害の経験【問12 複数回答】

小学校1年生の頃から現在までのハラスメント被害の経験について質問したところ、次の(1)～(3)のいずれでも、《経験がある》は、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』を上回っています。

※《経験がある》…「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも回答した人

(1) 不快な冗談、からかいを受けること

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経験 して いな い	無 回 答	《経験 がある》
全 体	5,606	874	1,572	1,442	597	676	2,435	92	3,079
	100.0	15.6	28.0	25.7	10.6	12.1	43.4	1.6	54.9
性的マイノリティ	184	61	95	99	56	47	27	6	151
	100.0	33.2	51.6	53.8	30.4	25.5	14.7	3.3	82.1
性的マイノリティ以外	5,422	813	1,477	1,343	541	629	2,408	86	2,928
	100.0	15.0	27.2	24.8	10.0	11.6	44.4	1.6	54.0

(2) 暴力（言葉の暴力やいじめを含む）を受けること

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経験 して いな い	無 回 答	《経験 がある》
全 体	5,606	436	841	979	395	618	3,434	100	2,072
	100.0	7.8	15.0	17.5	7.0	11.0	61.3	1.8	37.0
性的マイノリティ	184	44	57	69	29	32	70	7	107
	100.0	23.9	31.0	37.5	15.8	17.4	38.0	3.8	58.2
性的マイノリティ以外	5,422	392	784	910	366	586	3,364	93	1,965
	100.0	7.2	14.5	16.8	6.8	10.8	62.0	1.7	36.2

(3) (1)～(2)以外のハラスメントを受けること

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経験 して いな い	無 回 答	《経験 がある》
全 体	5,606	153	261	348	232	1,188	3,780	213	1,613
	100.0	2.7	4.7	6.2	4.1	21.2	67.4	3.8	28.8
性的マイノリティ	184	22	29	35	33	68	77	10	97
	100.0	12.0	15.8	19.0	17.9	37.0	41.8	5.4	52.7
性的マイノリティ以外	5,422	131	232	313	199	1,120	3,703	203	1,516
	100.0	2.4	4.3	5.8	3.7	20.7	68.3	3.7	28.0

■性的マイノリティへの配慮・支援で国や地方自治体がすべき取組【問20 複数回答】

性的マイノリティへの配慮・支援に関して、国や地方自治体がすべき取組について質問したところ、『性的マイノリティ』では、パートナーシップ制度の導入や婚姻に関する法律の制定等が多く求められていますが、『性的マイノリティ以外』とは差が見られます。

【『性的マイノリティ』が選択した割合の多かった上位3項目】

※上段が件数、下段が割合

	調査数	同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入	民法（婚姻に関するもの）改正や性別を問わずに婚姻できる法律の制定	福祉・医療・住宅など様々な施策の中に性的マイノリティへの配慮の視点を取り入れる
性的マイノリティ	184	135	127	115
	100.0	73.4	69.0	62.5
性的マイノリティ以外	5,422	2,539	2,241	2,278
	100.0	46.8	41.3	42.0

■性的マイノリティへの配慮・支援で学校がすべき取組【問21 複数回答】

性的マイノリティへの配慮・支援に関して、学校がすべき取組について質問したところ、『性的マイノリティ』では、性の多様性に関する授業等が多く求められています。性の多様性に関する授業は、『性的マイノリティ以外』も同値となっており多く求められていますが、希望に合った性別の制服の着用やトイレの設置・利用については、『性的マイノリティ以外』と差が見られます。

【『性的マイノリティ』が選択した割合の多かった上位3項目】

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティの希望に合った性別の制服着用を認める	性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業	性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用
性的マイノリティ	184	124	123	116
	100.0	67.4	66.8	63.0
性的マイノリティ以外	5,422	2,726	3,623	2,541
	100.0	50.3	66.8	46.9

■性的マイノリティへの配慮・支援で職場がすべき取組【問22 複数回答】

性的マイノリティへの配慮・支援に関して、職場がすべき取組について質問したところ、『性的マイノリティ』では、同性カップルへの慶弔休暇や家族手当の適用、服装や健康診断での配慮が多く求められていますが、『性的マイノリティ以外』とは差が見られます。

【『性的マイノリティ』が選択した割合の多かった上位3項目】

※上段が件数、下段が割合

	調査数	同性カップルにも 慶弔休暇や家族手当 を適用	制服や服装規定に おける配慮	健康診断での配慮
性的マイノリティ	184	129	115	111
	100.0	70.1	62.5	60.3
性的マイノリティ 以外	5,422	2,114	2,212	2,462
	100.0	39.0	40.8	45.4

埼玉県
多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査
—概要版—
令和3年2月

【発行】埼玉県 県民生活部 人権推進課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話 048 (830) 2111 (代表)
【業務委託先】株式会社 サーベイリサーチセンター